

1 連結業績概要 (① 前期比)

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当期	前期	増減	増減率	特記事項
売上高	2,016.5	1,459.6	556.9	38.2%	<売上> 原料・エネルギー等各種コストが上昇する厳しい事業環境の中、日本国内と台湾SYSCO社は増収、中国YSS社は過去最高の売上計上し黒字化
(売上総利益)	331.8	248.5	83.2		
(販管費)	188.3	169.7	18.5		
営業利益	143.4	78.8	64.6	82.1%	<営業利益> 日本国内: 販売量の回復に加え、在庫評価の利益押し上げ効果などから増益 海外: SYSCO社の大幅改善、YSS社黒字化、PPT社も改善 <営業外収益> 投資有価証券売却益および受取配当金の増加など
(営業外収益)	39.1	22.7	16.4		
(営業外費用)	3.5	3.6	△0.1		
経常利益	179.1	97.9	81.2	83.0%	<特別損失> 固定資産売却損計上など
(特別利益)	1.4	0.1	1.3		
(特別損失)	9.7	1.2	8.4		
税引前利益	170.9	96.8	74.1	76.6%	
(法人税等)	48.3	30	18.2		
(非支配株主利益)	24.7	4.1	20.5		
親会社株主利益	97.8	62.5	35.3	56.4%	<包括利益> 当期: 当期純利益 122億、その他有価証券評価差額金△31億、為替換算調整勘定51億ほか
(EPS(円/株))	339.77円	215.58円	124.19円		
当期包括利益	141.6	163.5	△21.9		

※当期より収益認識会計基準を適用しています。なお、2021年3月期については収益認識会計基準を遡及適用しています。

2 連結業績概要 (② 予想比)

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

連結 (億円)	実績	予想 (2022年2月開示)	差異
売上高	2,016.5	2,030.0	△13.5
営業利益	143.4	133.0	10.4
経常利益	179.1	167.0	12.1
親会社株主利益	97.8	90.0	7.8

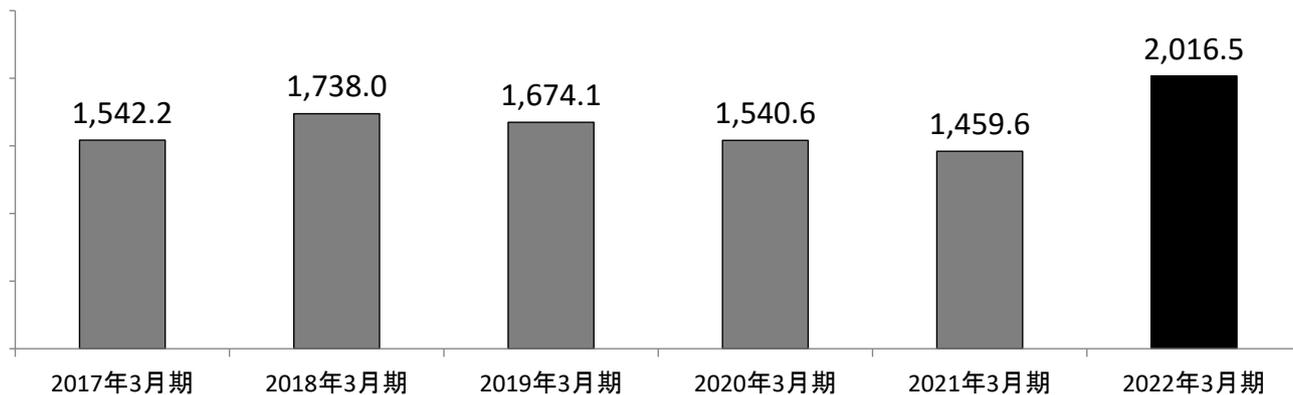
【差異要因】

- 経常利益・親会社株主利益：
4Qに保有していた投資有価証券の一部を売却（淀鋼）

3 連結売上推移

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))



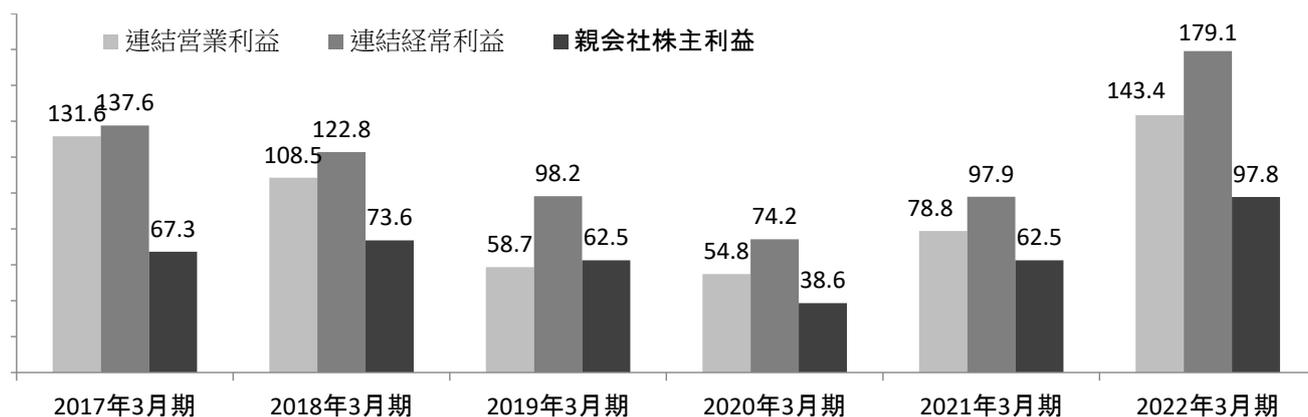
【増収556.9億の主な内訳】

- 淀鋼：増収 287億 (987→1,275) 市況回復や営業努力等による鋼板商品販売量増加、価格改定により、大幅増収
- 台湾SYSCO社：増収218億 (321→540) 台湾国内、輸出ともに販売量増加
- 中国YSS社：増収47億 (92→140) 通期黒字に向けて、建材向け、家電向けの販売強化し、販売量大幅増
- タイPPT社：増収5億 (33→39) 日系家電向けエアコン室外機用などの拡販に注力し販売量増加

4 連結損益推移

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))



【営業利益64.6億増益の主な内訳】

- 淀鋼9億 (70.2→79.4) コスト負担増も販価改善と在庫評価益などから増益
- SYSCO社47億 (12.2 →59.2) 市況回復に伴う販売数量増と販価上昇により損益改善
- YSS社7億 (△7.3 →0.4) 高付加価値製品 (GL) の販売増により黒字化
- タイPPT社1億 (0.1→1) 原料コスト上昇分の販売価格への転嫁に注力

5 セグメント概況

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	売上高			セグメント利益		
	当期	前期	増減率	当期	前期	増減率
鋼板関連	1,924.2	1,370.9	40.4%	142.1	82.5	72.2%
ロール	26.8	23.4	14.7%	0.0	△4.1	-
グレーチング	34.4	35.2	△2.4%	1.0	1.7	△37.5%
不動産	12.6	12.3	2.0%	8.5	8.7	△1.5%
報告セグメント計	1,998.2	1,442.1	38.6%	151.8	88.8	70.9%
その他	18.2	17.5	4.4%	4.4	1.9	125.9%
合計	2,016.5	1,459.6	38.2%	156.3	90.8	72.1%
調整額				△12.8	△12.0	
PL計上額	2,016.5	1,459.6	38.2%	143.4	78.8	82.1%

6 連結財政状態概要

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当期末	前期末	増減	増減率	特記事項
総資産	2,446.7	2,260.0	186.6	8.3%	<資産> (流動)売上債権増加、棚卸資産増加 (固定)投資有価証券の売却、 福井ヨドコウ設備投資など
(流動資産)	1,445.2	1,238.1	207.0	16.7%	
(固定資産)	1,001.4	1,021.8	△20.3	△2.0%	
負債	527.3	457.0	70.2	15.4%	<負債> (流動)仕入債務、未払法人税等増加 など (固定)長期繰延税金負債減少など
(流動負債)	375.5	283.7	91.8	32.4%	
(固定負債)	151.7	173.3	△21.5	△12.5%	
純資産	1,919.3	1,802.9	116.4	6.5%	<株主資本> 純利益97億、配当△21億など
(株主資本)	1,479.7	1,400.6	79.1	5.7%	
(その他包括利益累計)	223.1	224.1	△0.9	△0.4%	<非支配株主持分> 台湾SYSCO社の非支配株主持分の 影響など
(非支配株主持分)	214.5	175.9	38.5	21.9%	
(BPS(円/株))	5,907.11	5,644.23	262.88		
自己資本	1,702.9	1,624.7	78.2	4.8%	
自己資本比率	69.6%	71.9%	△2.3pt		

7 連結CF概要

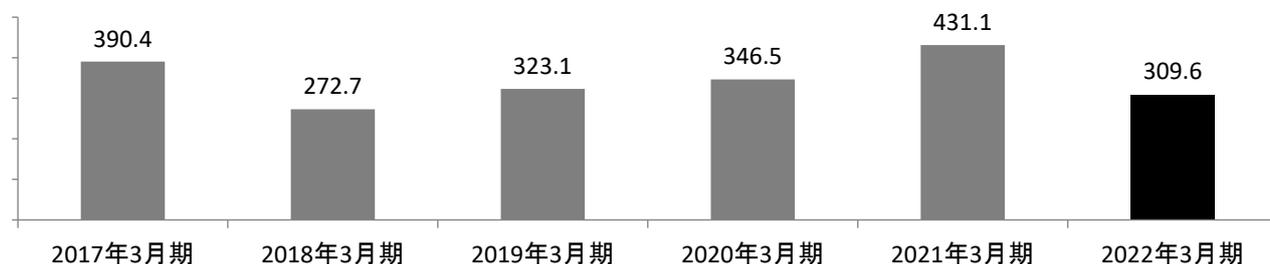
株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	当期	前期	前期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
営業CF	△106.4	171.4	△277.9	—	売上債権および棚卸資産の増加など
投資CF	△19.8	△46.7	26.8	—	有形固定資産の取得など
財務CF	△12.2	△39.9	27.7	—	当期: 配当△21億など
現金及び同等物	309.6	431.1	△121.5	△28.2%	

(単位: 億円)

現金同等物残高



淀川製鋼グループ 2022年3月期 決算説明資料

Copyright(C) 2022 Yodogawa Steel Works, LTD. All Rights Reserved



7

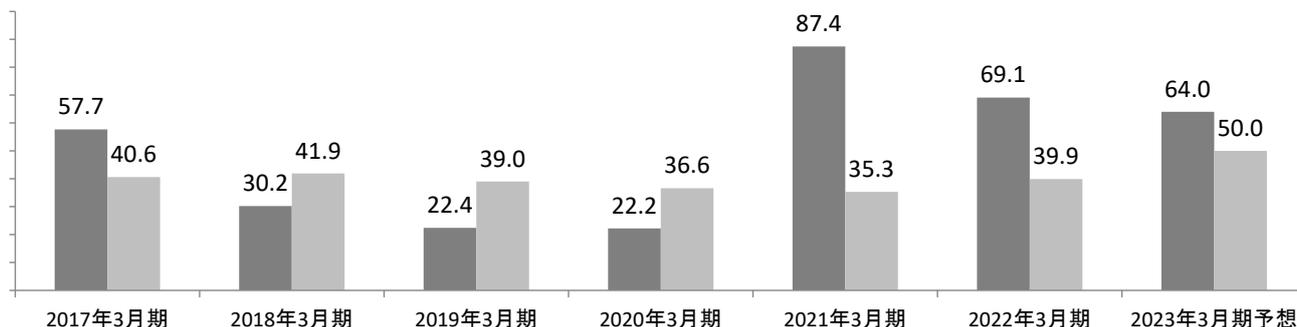
8 設備投資と減価償却

株式会社 淀川製鋼所

(有形固定資産のみ。建設仮勘定を含む資産計上ベース。単位: 億円(千万円未満切捨))

	当期	前期	前期比		特記事項 (記載金額は概略値)
			増減	増減率	
設備投資(連結)	69.1	87.4	△18.2	△20.9%	福井ヨドコウ(建物)
減価償却(連結)	39.9	35.3	4.5	12.9%	大きな変動なし
設備投資(個別)	24.4	48.7	△24.2	△49.7%	呉工場ライン装置
減価償却(個別)	18.8	19.6	△0.7	△3.9%	大きな変動なし

■ 設備投資額 ■ 減価償却費



淀川製鋼グループ 2022年3月期 決算説明資料

Copyright(C) 2022 Yodogawa Steel Works, LTD. All Rights Reserved



8

9 連結設備投資概要

株式会社 淀川製鋼所

(単位: 億円(千万円未満切捨))

	会社	案件	完成年月	総投資額 (資産計上ベース)
当期 実施	淀鋼	市川工場 事務所棟建替	2021年11月	8.9
	淀鋼	呉工場 5号めっきライン駆動装置更新	2021年12月	4.5
	福井 ヨドコウ	新工場新設(第1段階)	2021年9月	49.0
今後 予定	SYSCO社	2号めっきライン電機品更新	2023年6月	131.5百万NTD (約5.5)
	福井 ヨドコウ	新工場建設 — 第2段階	2022年秋	27.5

10 連結業績予想

株式会社 淀川製鋼所

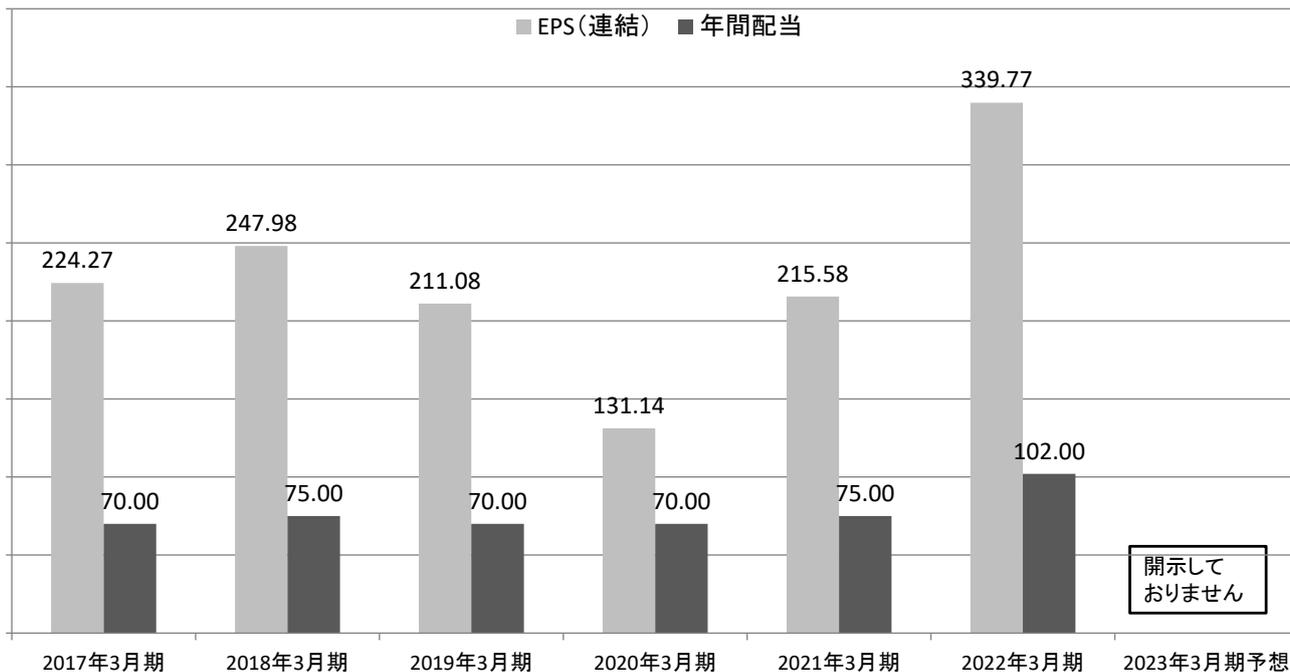
(単位: 億円(千万円未満切捨))

2023年3月期 (令和5年3月期)		第2四半期	当期比増減	通期	当期比増減
連結	売上高	現時点で合理的に算定することが困難であることから開示しておりません			
	営業利益				
	経常利益				
	親会社株主利益				
個別	売上高				
	営業利益				
	経常利益				
	純利益				

- 当社グループの事業環境が日本国内、海外ともに不透明感が高まっていることから、通期の業績予想を現時点で合理的に算定することが困難となっております

11 配当

(単位：円/株)

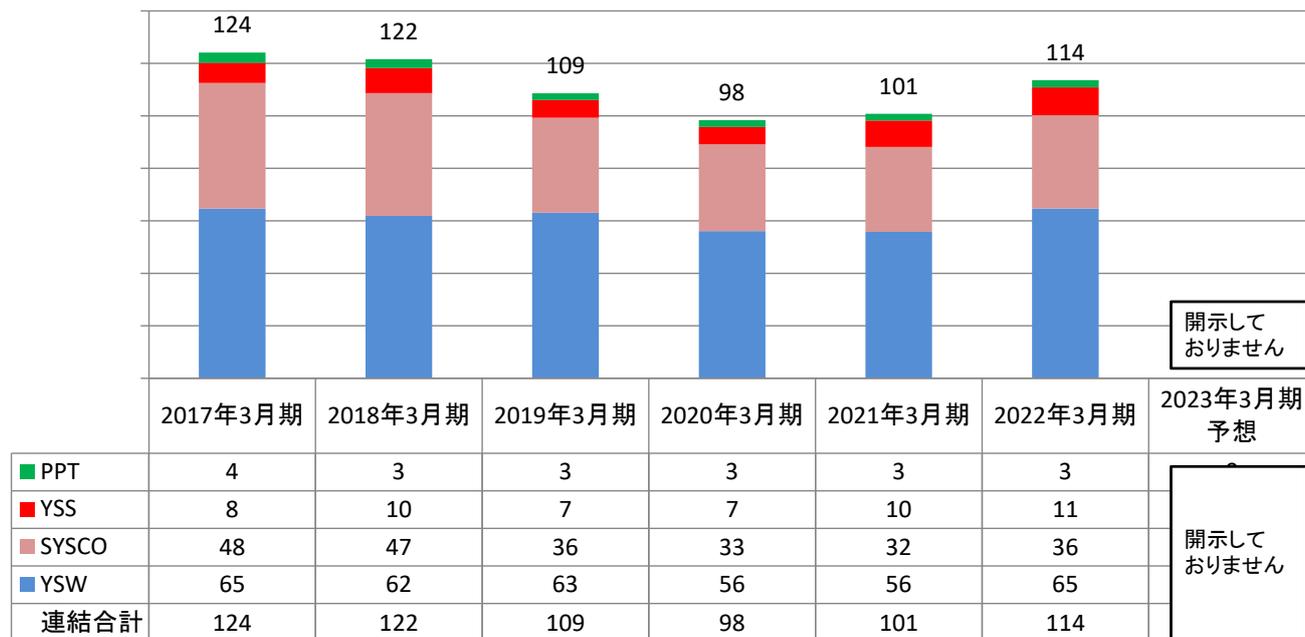


- 通期の配当予想については、合理的な算定による業績予想が開示可能となった時点で、速やかに開示いたします。

12 セグメント概況 (ご参考①)

【鋼板商品の一級販売量推移】連結消去は考慮せず

(単位：万トン)



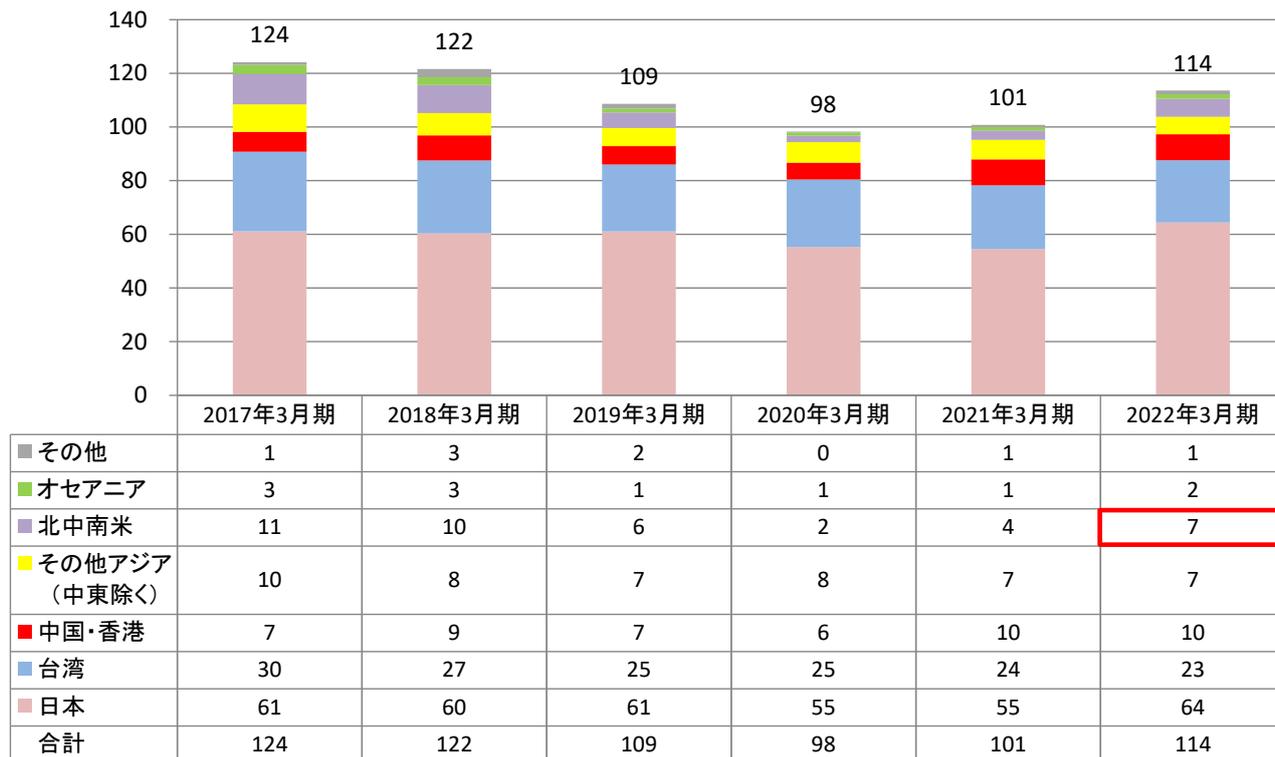
- 4社合計で 58万トンの増加
- 淀鋼+41万トン SYSCO社+ 11万トン

13 セグメント概況 (ご参考②)

株式会社 淀川製鋼所

【鋼板商品の向先別一級販売量推移】連結消去は考慮せず

(単位: 万トン)



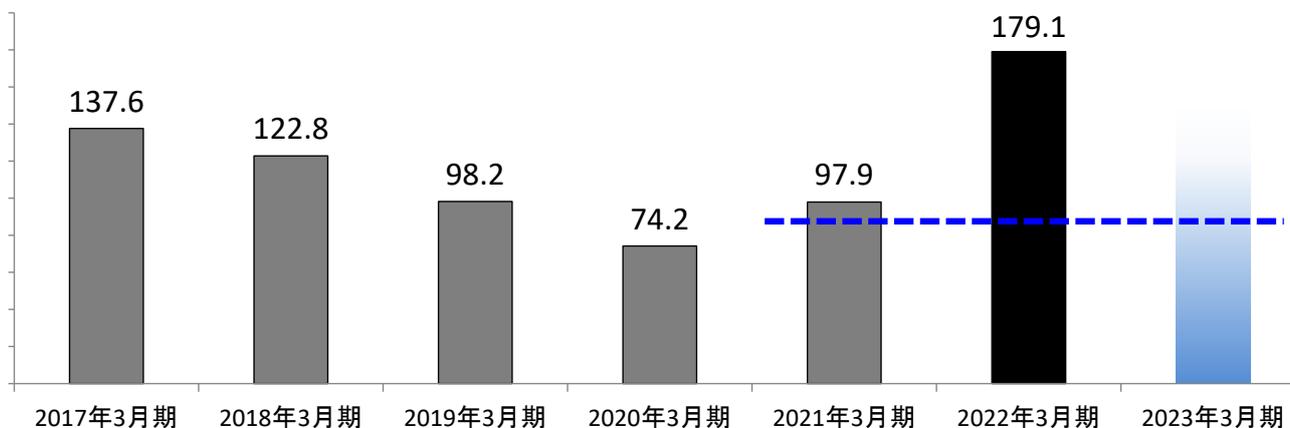
14 中期経営計画2022の状況

株式会社 淀川製鋼所

【目標／実績の概況(連結経常利益の推移)】

(単位: 億円(千万円未満切捨))

中期経営計画2022目標
連結経常利益90億円以上



- 「淀川製鋼グループ中期経営計画2022」において、連結経常利益 (2022年度) 90億円以上を目標値に設定。
- 中計2年目となる当期は、原材料・エネルギーなど各種コストが上昇する中、コスト削減や販売価格の改善、新規顧客の開拓などの企業努力を重ね、目標値を上回る連結経常利益を計上。

15 その他トピックス①

株式会社 淀川製鋼所

【ヨド物置エスモ モデルチェンジ】2022年2月発売開始



小型物置「ヨド物置エスモ」シリーズをモデルチェンジし、本年2月15日より発売を開始しました。この商品は2020年より大型投資を進めてまいりました福井ヨドコウ株式会社にて生産を行っております。

16 その他トピックス②

株式会社 淀川製鋼所

【エクステリア商品に係る生産・物流体制の再構築(進捗状況)】

株式会社 淀川製鋼所			福井ヨドコウ株式会社	
福井事業所 生産品目	ヨドハウス		 会社分割	第一工場 吸収分割にて承継 (2021年4月1日効力発生)
	ダストピット (小型ステーション用) サイクルスペース ほか			
大阪工場 生産品目	ヨド物置エスモ		 生産移管	第二工場(1号棟) 完成 (2021年11月稼働) 第二工場(2号棟) 建設中 (2022年秋稼働予定)
	ヨド倉庫			
	ヨド大型倉庫			
	ヨド自転車置場 ダストピット (集合住宅用)			

17 その他トピックス③

株式会社 淀川製鋼所

【新ブランド「YODOKO+ (ヨドコウプラス)」始動】



HOME OFFICE 900使用イメージ

「ニューノーマルの暮らしをデザインする」をコンセプトに、エクステリアからインテリアまで展開する新デザインブランド「YODOKO+ (ヨドコウプラス)」をスタートしました。その第一弾商品として、リモートワークを快適にするポータブルな開閉式の書斎「HOME OFFICE (ホームオフィス)」を2022年3月に発売しております。